

# 理想

☆3学年通信☆

小樽潮陵高校  
3学年通信  
第27号  
2016.12.14(水)

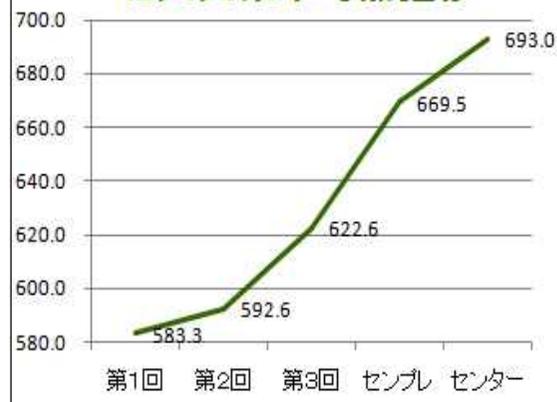
## 2017年春のために 最後までやり遂げる!

～現役生は最後まで伸びるのか?～

北大理系平均点推移



北大文系平均点推移



小樽商大平均点推移



札教育大平均点推移



### 日程表

月	火	水	木	金	土	日
12/12	12/13	12/14 本日	12/15	12/16	12/17	12/18
12/19	12/20 終業式	12/21 冬期休業開始日	12/22 冬期講習前期開始	12/23 天皇誕生日	12/24	12/25
12/26	12/27 冬期講習前期終了	12/28	12/29 校舎閉鎖	12/30	12/31 大晦日	1/1 元日
1/2	1/3	1/4	1/5 冬期講習中期開始	1/6	1/7	1/8
1/9	1/10	1/11	1/12	1/13 始業式	1/14 大学入試センター試験	1/15 16日は自己採点

2日間にわたり小樽商科大学を会場として実施された駿台センター模試も終了しました。センター試験の準備に費やせる日数もあと31日となりました。1年生からの努力が実を結ぶかどうか、これからの毎日にかかっています。もしも今、思うように成績が伸びていなくても、12月の全統センタープレからセンター試験までに北海道大学・小樽商科大学合格者の中で100点以上、北海道教育大学札幌校合格者の中でも100点近くも伸ばした先輩もいます。

不安なのはあなただけではありません。残りの日数で、自分ができる最大限のことをしましょう。ベネッセハイスクールオンラインを参照に今年のうちを決めておくことをお伝えしたいと思います。

1. 併願校を決めること。家族で十分話し合っておきましょう。

第一志望校のほか、「すごく成績が伸びたら」、「思うように得点できなかったら」など、可能性がある場面を想定して、家族全体で共通理解を得ておくことです。センター試験後に出願校決定が1週間遅れた場合、個別試験対策期間が1週間短くなってしまいます。また、個別試験対策期間を有効に過ごすためにも私立大の受験スケジュールも確認しておきましょう。

2. 受験のための手続きの準備をすること。

願書の取り寄せ、宿の手配、調査書の発行依頼など、配布された資料や注意事項をもう一度読んで、必ず準備しておきましょう。テレメールを使った願書請求は受験直前期に集中する場合があります。また、速達による配送もありますが別料金となること、また、北海道の場合は雪害により配送業者による配送が遅れることも懸念されます。今年度は昨年度比較して3年生の願書請求が大幅に少ないという情報もあります。準備不足にならないように注意して下さい。

3. センター試験の点数を伸ばすには、学校を頼ること。

授業・冬期講習は真剣に、一日一日を大切に学習を積み重ねましょう。左のグラフに示したとおりまだまだ伸びます！先にも述べたとおり100点以上伸ばした先輩もいます。何度も受験指導をして数多くの受験生を見てきた経験を持ち、また、皆さんのことを理解している先生を信じてください。

4. 今から科目を減らさないこと。

苦手科目があっても、まだ伸びます。受験科目が少ない大学は、倍率が高くなることを忘れないでください。模擬試験の倍率動向を見ていますと科目負担の少ない大学に受験生が集まる傾向は全国的に見られます。安易に科目を減らすことのないようにして下さい。

5. 体調の管理、生活習慣の維持をすること。

朝型の生活をしましょう。これからはしばらく続く受験生活では、朝型の人の方が有利です。規則正しい生活は健康にも良いです。長崎県の進学校、長崎東高校(中高一貫、東大現役4名、京大現役4名)は12月20日終業式の後、年内は講習、1月6日始業式です。本州・四国・九州は冬期休業が短くセンター試験前に数日間の登校日があります。今回の駿台センター模試で経験した入試本番当日の生活を忘れずに、今から生活リズムを整えて下さい。

6. 不安なことは相談すること。第一志望をあきらめるな!

今がふんばりどきです。くじけそうになったら、第一志望をあきらめてしまう前に、必ず相談して下さい。

今回の駿台センター模試は、初日に大雪に見舞われ、一気にセンター試験本番当日と同じような冬景色になりました。模試会場の小樽商科大学に時間通りに到着するために余裕を持って準備・行動することや慣れない会場で試験時間まで待機することを2日間にわたって経験できたと思います。

今回の大雪は、大学入試は何が起きるか分からないことを教えてくださいました。学力を伸ばす努力を継続すると共に、遠隔地での受験が考えられる私大入試・2次試験も含めた準備を整えて下さい。